

ちばの地域福祉

中核センター、これからの10年を考える。

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 副会長

君津ふくしネット 所長 西山 信男

千葉県の中核地域生活支援センター（以下、「中核センター」）をモデルの一つにした生活困窮者自立支援制度が、福祉事務所のある全国約900カ所の自治体でスタートした。この制度は、「経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者」が生活保護に頼らず、働いて自立できるよう支援する制度で、生活困窮者の相談を受理すると「支援プラン」を作成し、各種の福祉サービスにつなげる「自立相談支援事業」と「住居確保給付金」が、必須事業となっている。他に任意事業として「就労準備支援事業」、「家計相談支援事業」、「学習等支援事業」がある。

千葉県では、11年前に官民コラボで作られた「中核センター」が機能して、千葉県・千葉県社会福祉協議会と協働して、制度のスタートするギリギリまで37市に働きかけて、勉強会を実施した。また町村のあるエリアを担当する中核センターは、千葉県から事業を受託したことから、他県に比べて、この事業に対する取り組みはスムーズであったと考えている。4月1日には、テレビ・新聞でも報道され、各市の広報にも制度の紹介があり、問合せ・相談も多くあったと聞いている。

さて、「寄り添い伴走型の相談支援」を実施する中核センターは、24時間365日、何時でも、誰でも、どんなことでも受け付ける相談支援活動、権利擁護活動、地域での新たな福祉資源づくりを進める地域総合コーディネート活動の3つを柱としている。我々の実施するワンストップの相談支援は、『ブレーキのない福祉』であり、これが新たな制度を生み出した原動力となっている。寄り添なき孤独な高齢者、心身に障害のある人、厳しい生活を強いられている母子家庭など・・・「生活のしづらさ」を抱え、不安定な生活を送る人々は、後を絶たない。

県内に活動する各中核センターは、これからも連携して、これらの問題を抱える方々に、「アクセル」を踏みこんだ支援を実施しなければならない。

ちから ちばの福祉力・社会資源

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

～障害のある方の明るい未来をサポート～

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
会長 藤尾 健二

千葉県には現在 16 か所の「障害者就業・生活支援センター」が設置されています。千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会は、この全てのセンターによって構成されています。

障害者就業・生活支援センターは、「障害のある方の働く」「障害のある方の雇用」をサポートするセンターで、ハローワークや地域の行政・福祉資源等と密接な連携を図り活動しています。就職に向けた入り口での相談から就職後の定着支援まで、幅広くサポートする機関になります。

また、仕事と生活は密接に関連しているため、生活支援ワーカーを配置し、生活上の支援に必要な機関と連携しサポート体制の構築を図ります。これらの活動を通して、障害のある方の「働き続けること」をサポートします。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会はこれら就業・生活支援センター事業をより良いものにするために、平成 19 年に発足しました。

連絡協議会の活動は主に以下の通りになります。

○千葉県内に設置された障害者就業・生活支援センターのネットワーク化

※定例会開催（年間 5 回）、役員会開催（年間 5 回）、連絡調整会議開催（年間 2 回）

○障害者就業・生活支援センターの現状及び課題、今後のあるべき姿などに関する調査研究

<制度施策部会>

○障害者就業・生活支援センター全体のスキルアップを目的とした研修会の開催

<研修部会>

○障害者就業・生活支援センターの周知啓発（ホームページ、広報誌等による）

<広報部会>

また、上記以外の効果としては、連絡協議会の発足により、他機関との連携が強化されたことがあげられます。年 2 回開催している連絡調整会議においては、中核地域生活支援センター連絡協議会をはじめ、他機関との活発な意見交換を行い、「他機関からみたセンター」について考える大変貴重な機会となっています。

各地域の設置センターについては、連絡協議会HPにてご覧いただけます。

（右上にアドレス掲載）

私たちは、連絡協議会の活動を通してより良い障害者就業・生活支援センターの運営に努めて参ります。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。



<当協議会のパンフレット>
下記のHPよりダウンロード出来ます
<http://www.chiba-centernw.com/>

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

「地域住民の熱い思いを現実に」

夷隅地域づくりネットワーク

会長 森田 雄司さん

今回は児童養護施設（こやまホーム）の施設長でもあり、夷隅地域づくりネットワークの会長でもある森田氏にインタビューしました。

森田氏は忙しい中で常に地域を意識し、いつも冷静で、そしてエネルギーを感じさせる人です。特にいすみ地域づくりネットワークについては、専門とする児童分野だけでなく、高齢者福祉、障害福祉の分野の現場で働く人達、その地域の人達を一同に集め地域のために知恵をしぼっています。何かをやり始めることは大変なことですが、それを継続させることは、それ以上に大変だということがわかりました。

具体的に児童分野では、こども祭りの開催・重症心身障害児施設の開設、子ども・若者フォーラムの開催、高齢者分野では高齢者見守りネットワーク、障害分野においては、就労B型施設設立にいらっています。地域住民の熱い声にフットワーク良く反応できる、夷隅地域づくりネットワークという組織を作り、熱い思いを現実にしてきました。

色々な分野の人達をまとめ、引っ張ってくれる頼もしい人です。

もちろん人知れずご苦労もあった事でしょう。しかし、森田氏が夷隅地域づくりネットワークの活動をされたことで、大きなメリットがあったと思います。

こやまホームは市民との接点の少ない施設だったのですが、この活動を機に、地域の中での施設という認識を得ることが出来てきています。こやまホームを災害時における避難場所に設置したのもそのひとつです。

今地域はどんどん変わっています。

これからも森田さんの活動から目が離せません。





ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会 設立 11 周年記念講演会

とびたてひきこもり ひろがれ絆

- [内 容]** 千葉県に「なの花会」が設立されて 11 周年を迎えました。
これを記念し、講演会と演奏会が行われます。
ひきこもりで悩む親御さんをはじめ、たくさんの方々の参加をお待ちしております。皆様、是非ご参加ください。
- [プログラム]** 演奏会：市原シニアアンサンブルこすもす（指揮：大野 悦男氏）
講演会：「全国を旅して・ひきこもりの現状と回復へのとりくみ」
講師：池上 正樹氏（フリージャーナリスト）
- [日 時]** 平成 27 年 6 月 20 日（土）13：50～16：45（開場 13：30～）
- [場 所]** 千葉市民会館 小ホール（千葉市中央区要町 1-1）
- [入 場 料]** 一人 1,000円 **[申 込]** 不要
- [問合せ先]** NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会事務局
〒260-0042 千葉市中央区椿森 1-2-2 志村荘 201 号
TEL：090-8491-0971
E-mail：nanohanakai2003@yahoo.co.jp
なの花会 HP：<http://www.geocities.jp/nanohanakai2003/>

中核地域生活支援センター大会 2015

- [内 容]** 今年の中核地域生活支援センターが設立されて満 10 年が経過した区切りの年です。この 10 年間に福祉の制度や法律も大きく変わりました。4 月からは生活困窮者自立支援法も始まっています。今年の大大会では中核地域生活支援センターのこれまでの実践を振り返り、今後の千葉県の地域福祉について考えます。皆さんぜひふるってご参加ください！
- [プログラム]** 基調講演：「助けて」と言える地域社会へ
講師：奥田 知志氏（NPO 法人抱樸理事長）
報告：中核地域生活支援センター白書 2014
パネルディスカッション
- [日 時]** 平成 27 年 7 月 24 日（金）10：00～16：00
- [会 場]** 千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天 3 丁目 7-7）
- [参 加 費]** 1,000円
- [問 合 せ]** 千葉県中核地域生活支援センター『夷隅ひなた』
〒298-0003 いすみ市深堀 689-1
TEL：0470-60-9123 fax：0470-60-9124

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：夷隅ひなた（夷隅圏域）いすみ市深堀 689-1

TEL:0470-60-9123

FAX:0470-60-9124

編 集：いちほら福祉ネット（市原圏域）市原市東国分寺台 3-10-15 TEL:0436-23-5300 FAX:0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。